

平成29年度の取組み状況

(1) 小・中学校・特別支援学校の児童生徒を対象とする取組み

◆ “いじめ・非行をなくそう” 標語の募集及び全県広報

- ・県内の全小中学校及び特別支援学校に対し“いじめ・非行”の防止・根絶に向けた標語を募集したところ、合計53, 166点の応募があり、各地区ごとに審査が行われ、下記の4点が優秀作品に輝きました。

【平成29年度“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動優秀標語】

村山地区：ぼく決めた 見て見ぬふりは もうやめる

(寒河江市立高松小学校5年 工藤 昂也さん作)

最上地区：「うんとこしょ！」「どっこいしょ！」

みんなでぬこうよ いじめの根っこ

(最上町立向町小学校1年 大沼 叶夢さん作)

置賜地区：「いっしょにやろう」のひとつで かわるみらいがきっとある

(南陽市立中川小学校2年 鈴木 優斗さん作)

庄内地区：忘れない いつも心に 思いやり

(鶴岡市立朝陽第二小学校4年 加藤 千紗さん作)

- ・優秀作品については、青少年の健全育成に携わる関係者が一堂に集う山形県青少年健全育成県民大会（開催日：平成29年10月22日、場所：庄内町文化創造館「響ホール」）の場で作者が表彰され、“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動ポスター等各種広報媒体に掲載されました。

(2) 高等学校の生徒を対象とする取組み

◆ 高校生徒会によるいじめ防止スローガンの作成、ポスターデザインの募集

- ・県内の各高等学校において、生徒会等が主体となっていじめ防止スローガンを策定し、学校ごとにスローガンの実現に向けた様々な取組みが行われました。
- ・県内の高等学校に対し、“いじめ・非行をなくそう”やまがた県民運動のポスターデザインを募集したところ、計17点の応募があり、審査により優秀作品が選ばれました。

◆ 「生徒と地域の大人の対話会」の実施

- ・県内4地区において、子どもと地域の大人が互いに向き合い、いじめ防止のために何ができるのかを考える対話会が行われました。各地区の実情に応じて、小・中学生との対話会が行われたところもあり、大人と子どもが真摯に向き合うことでお互いに学んだことも多く、地域と子どものつながりが大事であると再認識できました。

(3) 県内の各地域における取組み

- ・ 県内各地域の推進機関・団体は、それぞれの計画に基づき、街頭及び学校での啓発活動やいじめ・非行防止のための講習会・懇談会等を開催するなど、積極的な活動を展開しました。

◆ 青少年の健全育成セミナー～いじめ・非行の未然防止に向けて～の開催（山形県青少年健全育成県民大会の中で開催）

青少年の健全育成に携わる関係者が一堂に集う山形県青少年育成県民大会の場で、地域・学校・家庭の3者の連携をテーマに、全国 web カウンセリング協議会の安川雅史氏による「スマホ時代の子どもと向き合う～Twitter・LINE・スマートフォンの危険性／被害者にも加害者にもならないために～」と題した講演と、県内4地区の事例を発表する事例検討会を実施しました。講演では、実際の事例を挙げながらフィルタリングの必要性や家庭で子どもと向き合うことの大切さをポイントに SNS やスマートフォンの危険性と加害者にも被害者にもならないためにはどうするのか、具体的な行動につなげていくためのヒントが得られました。事例検討会では、各地域の取組みが紹介され、どの地域も大人と子どもの関わりを大切にしているということで、その重要性を改めて認識した機会となりました。

(4) 各種媒体による普及啓発



学校法人九里学園九里学園高等学校1年山田亜未さんの作品がポスターデザインに選ばれました。

- ・普及啓発音源の作成
- ・「“いじめ・非行をなくそう” 山形県民運動実施中」と記載した車用マグネットシートを作成し、各総合支庁と県内各市町村へ配付しました。

◆運動の概要について、詳しくは実施概要をご覧ください。